



北九州の産業観光

知的好奇心を満たす旅

環境

北九州市は1960年代に深刻な公害問題を経験しましたが、市民・企業・行政が協力して克服。その過程で培った技術を活かし、環境関連産業が発展しました。現在では、環境への取り組みが国内外で高く評価されています。

【4本の柱】

北九州の工場夜景はスケールの大きさが特徴。洞海湾沿岸では化学工場やプラント群、小倉から戸畑にかけては広大な製鉄所など、多種多様な工場夜景を堪能できます。

工場夜景

日本の近代化の礎となった製鉄所やロボット工場、衛生陶器や無添加石けんの手作業現場など、様々な工場や資料館を見学できます。
(見学条件等あり)

工場・資料館

官営八幡製鉄所をはじめとする世界遺産「明治日本の産業革命遺産」など、日本の近代化を支えた多くの産業遺産があり、産業の歴史や先人の功績を伝える貴重な財産となっています。

産業遺産



北九州で体感する5つのストーリー

北九州市は、交通の要衝として発展し、1901年に官営八幡製鐵所が操業を開始して以来、「ものづくりの街」として日本の近代産業を牽引、製鉄・石炭・陸海運を中心に産業が集積し、日本経済の高度成長を支えました。

産業発展の過程で直面した公害問題を克服し、現在では環境技術で世界に貢献する都市へと進化。歴史と未来が交差する北九州で、産業観光を通じて「ものづくりの街」を体感してください。

日本の近代化の原点

製鉄

官営八幡製鐵所の操業により誕生した鉄都・八幡。製鉄を基盤に加工工場や素材産業が次々と生まれ、北九州工業地帯への躍進が始まりました。

黒ダイヤが支えた時代

石炭

石炭が「黒ダイヤ」と呼ばれた時代、日本一の石炭積出港として栄えた若松。大正期の建物群が、石炭景気に沸いた歴史と発展を今に伝えています。

世界とつながる門司港

陸海運

国際貿易港として発展した門司港。鉄道の起点としても繁栄し、往時の栄華を偲ばせる建築物が今も残ります。

公害克服から未来へ

環境

公害克服の経験と技術力が、環境産業という新たな道を切り開きました。「北九州エコタウン」を中心に次世代の環境技術を体験できます。

ものづくりの進化

先端技術

ロボットがロボットを作る工場、職人による手作業の現場、自動車工場の生産ラインなど、幅広い業種の工場があり、現場からは最先端技術と伝統の融合が感じられます。

産業観光は北九州へ!

見学できる施設を下記ホームページで紹介しています

<https://sangyokanko.com/>

北九州 産業観光

検索

